

Environmental Report
環境報告書
2018



第1章 概要

ごあいさつ	1
環境方針	2
環境への影響	3
プラスの環境目的・目標と実績	4

第2章 環境マネジメントシステム

環境管理体制	5
監査結果	6

第3章 環境負荷低減への活動

環境ISO規格改訂への対応	7
工場レイアウト刷新による 作業効率アップ	7
緑化庭園の完成	8

第4章 地域社会とのコミュニケーション

「琵琶湖周航の歌」誕生100年記念碑に協賛	9
京大フォーミュラプロジェクト支援	9
プロダクトスクエアに 多彩なお客様をお迎え	10

第5章 サイト別環境パフォーマンス実績表

本社	11
営業部	12
滋賀事業所	12

環境保全活動のあゆみ

アンケート

編集方針・報告書の範囲

編集方針 「環境報告書2018」は、環境省が発行した「環境報告書ガイドライン」を参考に編集しています。また、環境目的・目標や具体的な取り組み状況、サイト別の環境パフォーマンスについては、できるだけ写真やグラフを活用いたしました。

対象期間 2017年度(2017年1月1日～2017年12月31日)の活動内容を報告します。

対象範囲 この環境報告書は、下記事業所すべてを対象範囲としています。

■兵神装備株式会社

本社、滋賀事業所、技術研究所、サービスアネックス、東京支店、大阪支店、さいたまオフィス、横浜オフィス、滋賀オフィス、名古屋支店、福岡営業所

■エイシンテクノベルク株式会社

本社、滋賀事業所

発行部署 兵神装備株式会社 全社環境事務局

〒652-0852 神戸市兵庫区御崎本町1-1-54

TEL:078-652-1111 FAX:078-652-4504

発行日 2018年10月1日(次回発行予定:2019年6月)



兵神装備株式会社

代表取締役社長 小野純夫

2017年は、7月に九州北部集中豪雨が発生し、家屋の倒壊や床上・下浸水など地域に甚大な被害をもたらしました。東京でも8月初めから21日間連続の降水を観測するなど、気象災害が頻発しています。海外においてもこの傾向は顕著で、異常高温、台風、豪雨が各地で発生しました。

11月にドイツ・ボンで開催されたCOP23では、このような状況を打開すべく脱炭素化に向けた具体的なアクションづくりが審議されており、このテーマはグローバル企業の活動方針にも影響を及ぼしつつあります。

こうした中、環境マネジメントシステムに関する統一規格、ISO14001が2015年度版に改訂されたことに伴い、当社も活動の枠組みを一新すべく、全社プロジェクトを発足させました。これまで拠点別の委員会組織によって推進してきた環境活動を事業活動（開発、生産、販売、サービス）と一体化させ、会社経営に直接リンクする仕組みに変えることが狙いです。この試みは今年も引き続き展開していきます。

一方で、当社滋賀事業所の敷地の緑化や、工場レイアウトの刷新による作業効率の大幅向上など、環境保全に関わる具体施策も実施しました。下水汚泥の処理工程で汚泥中に含まれる繊維状の異物を細かく破碎し、配管閉塞の防止や設備の長寿命化を実現する新たな環境対応製品も上市しました。

また昨年は、滋賀事業所に新たに製品ショールームを開設しました。ここに長浜市長を始め、企業や学生・児童の皆様、行政の方々や地域の皆様をご招待して工場や主要製品をご覧いただき、当社の活動に一層のご理解をいただけるよう、日々努めております。

この報告書をお読みいただくことで、当社の環境保全や社会貢献活動をご理解いただくとともに、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

環境理念

当社は、地球環境保全を人類共通の最重要課題と認識し、環境にやさしい製品づくりを通し、事業活動のあらゆる面で、「持続的発展が可能な社会」の構築に貢献いたします。

スローガン

限りある資源を大切にし、環境にやさしい製品を創り続けます。

基本方針

当社は、広く産業界で多様なニーズに応えるヘイシン モーノポンプの開発・生産・販売をしています。

そして、その事業活動において環境に影響を及ぼす可能性を持っています。

私たちは、これらの環境への負荷を削減するだけでなく良い影響を与えるための組織体制・管理システムを確立し、継続的に下記の活動に取り組んでいきます。

1. 下記の項目に目標を設定して取り組み、その達成状況を確認し、状況に応じて改善していきます。
 - ① 廃棄物の削減及び適正処理
廃棄物の削減・分別収集、再利用の促進、適正処理を行います。
 - ② 排水の適正処理
化学物質の適正処理、関連装置の改善により排出物の削減と適正処理に努めます。
 - ③ 資源・エネルギーの効率利用
資源・エネルギーの効率的な利用により環境への負荷を削減し、資源のリサイクル活動・グリーン調達に努めます。
 - ④ 環境にやさしい製品の設計・開発
有害物質を排除した製品や省エネ、長寿命化製品の設計・開発に努めます。
 - ⑤ 環境製品の販売促進活動
省資源・省エネに貢献するグリーン製品の販売促進に努めます。
2. 環境法令・条例・協定、その他当社が受入を決めた要求事項に関し、社内自主基準を定め、徹底遵守いたします。
3. 環境教育、広報活動を行い、全社員が環境方針を理解し、環境保全意識の向上を図るよう努めます。
4. 緊急事態発生時の環境汚染被害を最小限にするため、予防・緊急時対応に万全を期します。
5. ISO14001 に準拠した環境マネジメントシステムを構築し、維持・改善に努めます。

2003年1月

兵神装備株式会社
ヘイシンテクノバルク株式会社
代表取締役社長 小野 純夫

当社は、

- 「ヘイシン モーノポンプ」の研究開発・設計、製造、販売、メンテナンスサービスを行っています。
- 事業所内での諸活動による環境負荷は、エネルギー消費に伴う二酸化炭素の排出、廃液、廃プラスチック、一般廃棄物が主なものです。
- 省エネルギー、廃棄物の削減、化学物質の管理を活動の柱とし、全社的なあらゆる活動において、環境負荷低減に取り組んでいます。



※CO₂排出量は、電力、ガス、ガソリン、軽油、灯油の消費量をすべて換算し、合計しました。
(各換算係数は、環境省ガイドライン、関西電力、大阪ガスのデータを参照しています。)

プラスの環境目的・目標と実績

前年に引き続き、省エネ・省資源・長寿命化製品の開発・設計・製造・販売を推進しました。

■ 超微量用ヘイシン ディスペンサー3HD006G30

超微量用ディスペンサー 3HD006G30 の販売を開始しました。近年、電子機器の小型化・薄型化が著しく、組み込まれる電子部品もますます小型化されてきています。特にスマートフォンの小型部品の製造工程では接着剤の微量塗布の需要が高まっていました。3HD006G30 はこうした微量塗布のニーズに応える製品です。ローター、ステーターの精密加工技術等によって「直径 0.2mm の点、幅 0.2mm の線の高精度塗布」を実現し、小型電子部品製造工程の生産性向上につなげました。



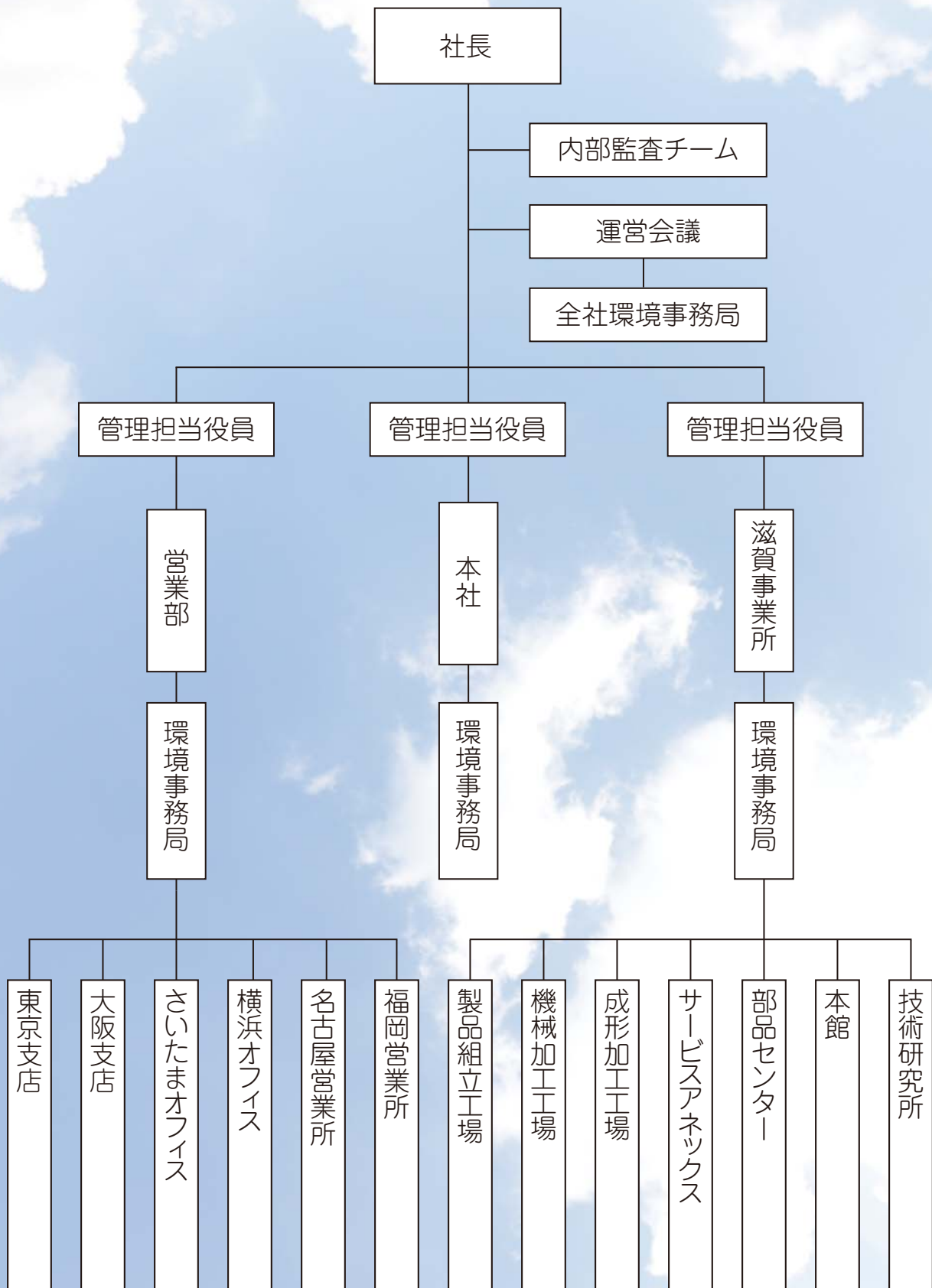
ヘイシン ディスペンサー3HD006G30

■ ヘイシン モーノカッターMC302S型

一軸回転刃式し渣破碎機、ヘイシン モーノカッター MC302S 型の販売を開始しました。下水汚泥を処理する工程において、汚泥中に含まれる「し渣」と呼ばれる繊維状の異物は、処理中のモノポンプや攪拌機などの回転機械に絡みつき、問題を引き起こします。本製品は、配管を流れてきた「し渣」を細かく破碎することで、配管閉塞の防止や設備の長寿命化を実現し、保守・修理コストの低減に大きく貢献します。



ヘイシン モーノカッターMC302S型



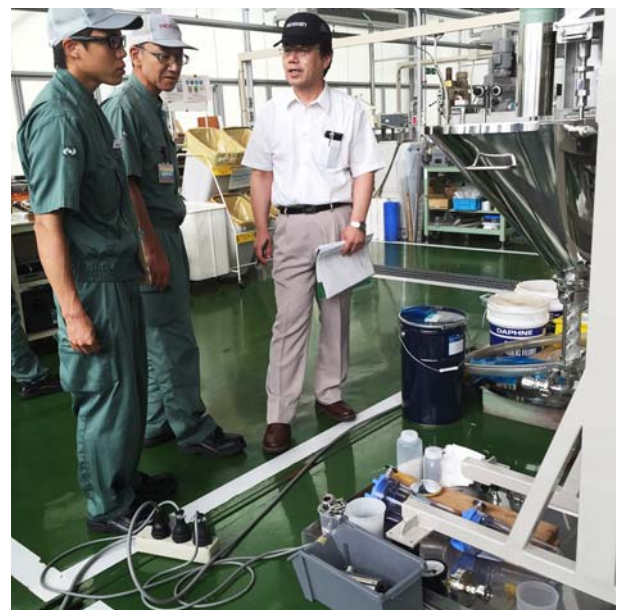
内部監査

毎年、廃棄物処理や電力削減の状況、及び遵法確認を中心とした内部監査を実施しています。2017年5月に各サイトで監査が行われ、合わせて来年度の2015年版への移行を想定した部門監査も実施しました。滋賀事業所にて不適合事項が1件確認されましたが、7月に是正処置が行われ問題がないことが確認されました。



外部監査

ISO14001サーベイランス審査が、7月の5日間、本社、滋賀事業所、福岡・大阪・名古屋の営業拠点において実施されました。不適合事項はありませんでしたが、推奨事項として、近隣周辺からの苦情と処置内容を正確に記録として残すこと、各種法令・条例に関する責任部署や担当者の力量を計画的に高め、要所に配置することなどが挙げられました。今後、2015年度版移行のプロセスの中で、これらの事項につき対処していきます。



■ 環境ISO規格改訂への対応

ISO14001の規格改訂に伴い、自社の環境活動を抜本的に見直す規格改訂プロジェクトを3月に発足しました。取組み指針として「環境活動を本業と一体化させ、経営に役立つマネジメントシステムを構築する」を掲げ、新たな環境方針、環境マニュアルを制定、部門ごとに新年度からの新たな環境目標を策定しました。2018年からは新しいルールのもと、資源の節約、節電だけでなく、環境性能の高い製品の開発・製造・販売に注力することで、社会的使命を果たしていきます。

■ 工場レイアウト刷新による、作業効率アップ

滋賀事業所の製品組立工場において、大がかりな生産工程のレイアウト変更を行いました。狙いは、最短の作業動線で効率的に製品をつくることと、現場の作業環境を改善することで、より生産性を高めることです。

生産工程のレイアウト変更では、部品や製品の移動のムダを約20%削減することができ、組立効率を大きく向上させました。また、社員が様々な危険から身を守る訓練を行う体験型の安全道場や、新たな休憩場の導入により、社員にとっても安全で快適な労働環境を実現しました。



製品組立工場の新しいレイアウト

■ 緑化庭園の完成

製品ショールーム「プロダクトスクエア」のオープンに合わせて、工場の緑化庭園づくりをすすめ、このほど完成しました。庭園は駐車場や製品組立工場の隣接地、新館屋根上におよび、合計 1,679m² です。

庭園にはヒラドツツジ、ソメイヨシノをはじめ、様々な植物を植えており、10 年後には地域の皆様にも花見を楽しんでいただけることを想定した造りとなっています。



ヒラドツツジ、ソメイヨシノ、芝生からなる駐車場の庭園

■ 「琵琶湖周航の歌」誕生100年記念碑に協賛

「琵琶湖周航の歌※」誕生100年記念碑の序幕式が長浜市の豊公園内にある「太閤井戸」近くの浜辺で行われ、当社も参画しました。地元にはゆかりのある歌の記念碑の製作に賛同し、製作資金として100万円を寄付しました。当社からは滋賀事業所所長が出席し、歌手の加藤登紀子さん、長浜市の藤井勇治市長、嘉田由紀子元滋賀県知事らとともに記念碑の序幕を行いました。

※「琵琶湖周航の歌」は、1917年に第三高校（現在の京都大学）ボート部の部員が作詞して誕生し、伝承された歌です。



加藤登紀子さんらが「琵琶湖周航の歌」を熱唱。中央が記念碑です。

■ 京大フォーミュラプロジェクト支援

当社とエイシンものづくり育英会が昨年からの支援を始めた「京都大学フォーミュラプロジェクト KART」の製作するレーシングカーが、第15回全日本学生フォーミュラ大会に出場しました。京大 KART は、京都大学の学生が参加・運営しているものづくりサークルです。今回当社は、50万円の資金の援助と、車輛のエンジンを搭載する土台となる重要な部品を製作し提供しました。京大 KART の成績は、参加数 94 チーム中、総合 10 位、デザイン部門では 1 位でした。



滋賀事業所に実車と共に訪問いただきました。

■ プロダクトスクエアに多彩なお客様をお迎え

滋賀事業所に兵神装備初の製品ショールームである「プロダクトスクエア」がオープンし、最新の 40 を超える製品を実演してお客様をお迎えしています。数多くの代理店様、エンドユーザー様に加え、各種工業会や大学関係者の皆様にもご来場いただき、2017 年 9 月には長浜市の藤井勇治市長にもご訪問いただきました。

今後とも様々な分野での生産性向上や省エネに、モノポンプ、モノディスペンサー等が貢献している事例をお伝えできるよう、展示の充実を図ります。



長浜市の藤井市長(右)が視察されました。



プロダクトスクエア(基本構造と汎用機器のエリア)



プロダクトスクエア(サニタリー製品と新製品のエリア)



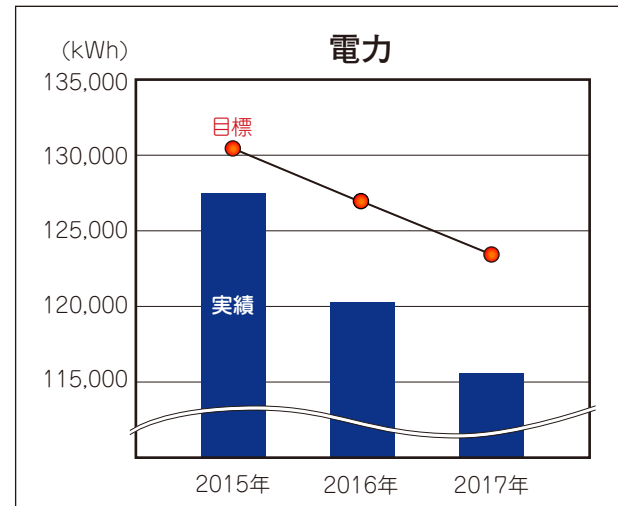
プロダクトスクエア(モノディスペンサーのエリア)

本社

環境側面	2016年		2017年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	127,284	120,165	124,102	115,599

2017年度の電力使用量目標は、基準年度である2011年度比14.1%の削減を目指しましたが、結果は目標を上回る20%の削減となりました。

主な節電対策は、エアコンの温度設定の管理、加湿器導入による暖房用電力の削減などですが、他事業所への人員の移動による人員の減10%も要因の1つでした。コピー用紙の使用量は前年比12%減、リサイクル紙の排出も4%減となりました。また水道使用量は7%、一般可燃ゴミも9%削減しました。また、使用済み粉体の排出は110kgでした。



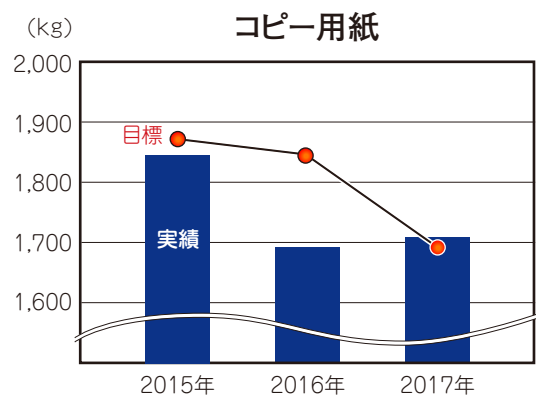
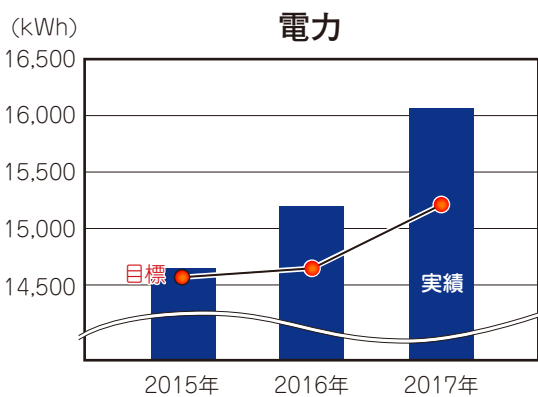
営業部

環境側面	2016年		2017年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	146,609	152,039	152,039	160,781
コピー用紙(kg)	1,845.7	1,693.4	1,693.4	1,727.1

2017年度は電力・コピー用紙ともに前年実績を目標としました。

実績は、コピー用紙、電力とも微増となりました。主な要因は、技術部員の営業拠点への異動と中途採用や新人の配属による人員増と冬季の湿度維持の為に加湿器の追加設置です。

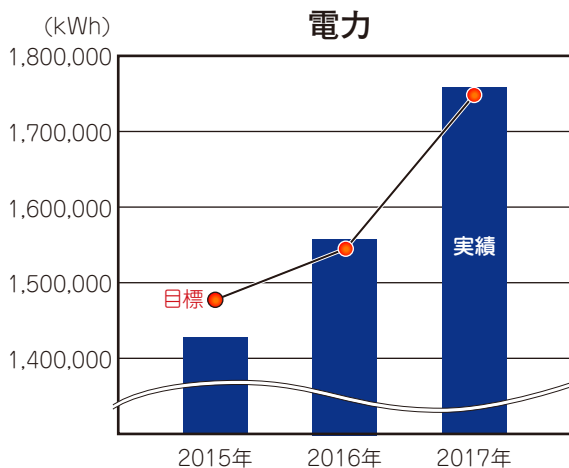
グリーンポンプに関しては、拠点毎に3機種を選択して目標にしました。全機種に対して目標達成はできませんでしたが、各拠点とも2機種に対しては達成しています。



滋賀事業所

環境側面	2016年		2017年	
	目標	実績	目標	実績
電力(kWh)	1,542,627	1,577,970	1,750,180	1,758,106

2017年は、試験研究開発設備などの不確定な部分を除外した使用電力を活動対象としました。目標数値は、生産の増加(+7.7%と想定)と前年末に竣工した新生産管理棟の稼働に伴う影響(+8.3%と想定)を考慮して、前期比+10.9%としました。実績は、生産の増加による電力増は目標内に納まったものの、新生産管理棟の稼働に伴う影響が+9.9%に拡大したことから、目標比では+0.5%となりました。



当社の活動

- 滋賀工場でISO14001認証取得に向けたエコプロジェクト発足/環境方針制定
- 滋賀工場ISO14001認定取得
- 環境報告書2001発行
- 全社に拡大してISO14001認定取得を目指すことに決定
全社環境綱領の制定
- 拡張監査・滋賀工場更新審査
• 全社ISO14001認定取得
- 化学物質管理委員会発足
• グリーン調達推進委員会発足、説明会開催
• 化学物質管理規定発行
• 滋賀工場に環境適合機能を誇る技術研究所を開設
- アスベスト不使用で代替品に切り替え、ホームページでもアスベスト不使用宣言
• ノンタルエポキシ塗料、鉛フリー塗料に切り替え下水道事業団仕様に対応
• 環境報奨規定を制定
• 本社ビルを環境適合機能化ビルにリニューアル
- 技術研究所で太陽光発電システムを稼働
• 神戸本社で太陽光発電システムを導入
• 製品/ヘイシンロボティクスシリーズに分解・洗浄性を高め、残液ロス低減の新製品をラインアップ
- 環境材料分科会を滋賀工場で開催
(滋賀県東北部工業技術センター主催)
• サービスアネックス工場を環境に配慮してリニューアル
• 滋賀工場に環境最適機能を誇るヘイシンテクノパルクテクニカルセンターを開設
• 本社の外構を環境に配慮してリニューアル
• 製品/脱水ケーキ圧送用途で環境に優しいNZF型ポンプを新発売

1998

1999

2000

2001

2002

2003

2004

2005

2006

2007

世の中の動き

- 地球温暖化対策推進法制定
- PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握および管理の改善の促進に関する法律)制定
- 環境型社会形成推進基本法制定
• グリーン購入法制定
• 建設資材リサイクル法制定/食品リサイクル法制定
• 資源有効利用促進法制定
- 環境省発足
• 家電リサイクル法施行
- PRTR法完全施行
• 土壌汚染対策法制定
• エネルギー政策基本法制定
• 地球温暖化対策推進法改正
- WEEE(EU廃電気電子機器リサイクル指令)発効
• RoHS(EU電気電子機器危険物質使用制限指令)発効
• 首都圏ディーゼル車規制施行
• 環境教育推進法施行
- 気候変動枠組条約第10回締結国会議(COP10 アルゼンチン)
• 国際環境規格ISO14001-2004年版発行
• 大気汚染防止法改正
- 自動車リサイクル法完全施行
• 京都議定書発効
• 日本国際博覧会「愛・地球博」が愛知県を舞台に開催
• COP11 カナダ・モントリオールで開催
- COP12 ケニア・ナイロビで開催
• RoHS指令開始(EU)
• REACH採択(EU)
- G8ハイリゲンダムサミット開催(ドイツ)
• COP13 インドネシア・バリで開催
パリロードマップ採択
• 食品リサイクル法改正
• フロン回収破壊法改正

当社の活動

- 滋賀工場オープンカンパニーを開催
- 製品/環境に優しいハイシンドラムポンプシステムのペー
ルシリーズを新発売
- 6月5日を「兵神装備環境の日」として第1回環境大会を開催
- 騒音や排ガスを低減した、大型展示車を製作
- 第3回発明大会にて「メタンハイドレードについて」記念
講演実施
- 技術研究所に、地下水を利用した空調ファンコイルを設
置

- 省エネや安全に配慮した新しい営業展示車を製作
- 浄水場の薬液注入用ポンプ装置「ハイシンモノポンプ
薬注ユニット オールinワン」を発売
- 製品組立工場内に、作業環境を改善する「作業ルーム」を
設置

- 本社ビルを省エネを主眼に全面リニューアル
- 社員パソコンに、社外から遠隔操作可能なシンククライアント
機能を導入
- 太陽電池、LEDの製造に貢献する「ハイシンマイクロディ
スベンサー」発売

- 食品製造に貢献するハイジェニックスシリーズ「NHL型」、二
次電池製造に貢献する新材質「アルミナセラミックロータ
ー」を発売
- 夏期・冬期に節電対策を実施
- 日経ニューオフィス賞「近畿ニューオフィス賞特別賞」を受賞

- 食品や薬品の包装技術を支える短型ポンプ「NHL-G型」、
耐摩耗性に優れた下水向けポンプ「NE88型」を発売
- 電力不足に対応するため、太陽光発電システムとガスコージ
ジェネレーションシステムを導入
- ロボディセンサード型に採用されている軸シールに関する
発明により、文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞
- 東日本大震災の被災地向け復旧支援事業として、東北各地
の下水処理施設にモノポンプを納入

- 電力不足に対応するため、太陽光発電システムを新たに
300kW増設。また地下水を利用して冷房するファンコイ
ルも増設。
- 下水処理場などで使用する、長期安定した寿命を持つ脱
水ケーキ用「SHD」を開発。
- 「びわ湖の日」の7月1日に行われた「琵琶湖・余呉湖一斉
清掃活動」に参加。

2008

- 京都議定書約束期間スタート
- 「エネルギーの使用の合理化に関する法律」及び「地球温
暖化対策推進法」改正
- G8洞爺湖サミット開催(日本)
- 化学物質に関する欧州連合(EU)の「REACH(リーチ)規
制」が本格施行
- 東京国際環境会議開催
- 国連環境計画(UNEP)が「環境版ニューディール政策」を提
唱
- 全国型エコアクション・ポイント開始(環境省)

2009

- <国内>
- エコカー減税と高速道路料金上限1000円の割引を実施
 - 太陽光発電の買取制度始動
 - エコポイントでグリーン家電の買い替え促進
- <海外>
- COP15/MOP5、コペンハーゲンで開催
 - 米国を中心に、環境分野への重点的な投資で景気回復や
雇用創出を図る「グリーンニューディール」が始動
 - EUで、白熱電球の販売禁止令が発令される

2010

- <国内>
- 生物多様性条約の第10回締約国会議(COP10)名古屋
会議の開催
- <海外>
- EU、2020年までのエネルギービジョンをまとめた新戦略を
公表

2011

- <国内>
- 福島第一原発の事故と、原子力発電の見直しおよび自然
エネルギーへの転換加速
 - 電力会社からの節電要請、計画停電の実施
 - 再生可能エネルギー促進法が制定
- <海外>
- 福島原発事故で欧州に脱原発の動き

2012

- <国内>
- 京都議定書第一約束期間が終了し、改正京都議定書を採
択(COP18)
 - 白熱電球の国内生産が終了
 - 三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興ビジョン
- <海外>
- 中国南部で河川にカドミウムを垂れ流し、市民はペットボ
トルに殺到
 - 北京市を覆う厚いスモッグ、「PM2.5」が403の数値を示
し米大使館が「有害」との判断
 - 「国連持続可能な開発会議(リオ+20)」20年ぶりにブラ
ジルで開催。国連加盟188ヶ国参加

2013

- <国内>
- 福島第一原発で地下水の流入による汚染水の増加と貯
蔵槽からの放射能汚染水漏れ
- <海外>
- 中国でPM2.5等の大気汚染による濃霧が過去50年で最多
 - 水銀に関する水俣条約の採択92か国署名、2020年以降
使用・廃棄が規制される

世の中の動き

当社の活動

- 省エネ・省資源・長寿命化を主眼とする製品、「鋼板補強材塗布システム」「マイクロリットルシリーズ HMC型」「磁性ゴムステーター-SHLG」「ホースフリーシステム」を開発、発売。
 - 滋賀事業所の部品センター屋根上に100kWの太陽光発電システムを設置し、12月から発電を開始。合わせて510kWを発電。
 - 当社が提供した支援金が建設資金の一部に充てられた、東日本大震災での遺児のケア施設「レインボーハウス」が完成し仙台に竣工。
-
- 浄水場に向けて、活性炭と水の混合液（スラリー）を連続注入する装置「ヘイシン カーポインジェクション ユニット」を開発、発売。
 - 滋賀事業所のサーブスアネックス屋根上に100kWの太陽光発電システムを設置し、発電を開始。合わせて610kWを発電。
 - 小谷城址保勝会が主催する小谷城跡の山桜苗木植林活動に、当社からボランティアとして参加。
-
- 金属外筒を再利用できる食品業界向けモノポンプ専用のステーターを発売。
 - 中国市場向けグリーンポンプ販売。
 - 琵琶湖畔のヨシ植えボランティア参加。
-
- 汚泥中の「し渣」を破碎する一軸回転刃式し渣破碎機「ヘイシン モーノカッターMC302S型」発売。
 - 工場のレイアウトを刷新し、製品組立作業の効率アップを実現。
 - 駐車場、工場の隣接地、新館の屋上に緑化庭園を造成。

2014

2015

2016

2017

世の中の動き

<国内>

- トヨタ自動車が世界初の一般向け燃料電池自動車「MIRAI」の販売を発表。
- 国際司法裁判所が、日本の南極海での調査捕鯨の中止を決定。

<国内>

- フロン排出抑制法改正4月:エアコン等簡易点検・定期点検の実施と記録の保管義務。
- 九州電力川内原発第1号機が再開、2年ぶりに国内の原発0に幕。

<海外>

- ISO14000の規格全面改定。
- COP21、「パリ協定」を採択、地球温暖化防止に向けた新たな法的枠組みがまとまる。

<国内>

- 常態化してきた異常気象（記録的な大寒波、6度の台風上陸）。
- G7伊勢志摩サミット開催

<海外>

- 「パリ協定」の発効。

<国内>

- 環境省内に、被災地の環境再生に取り組む「環境再生・資源循環局」を設置。
- 特定外来生物に指定されているヒアリに関する情報発信のため、環境省が「ヒアリ相談ダイヤル」を開設。
- メチル水銀による汚染への対策を目的とした「水銀に関する水俣条約」が発効。

<海外>

- COP23がドイツ・ボンで開催され、国際的なルールづくりに向け前進。
- 米国トランプ大統領がパリ協定からの離脱を宣言。
- 脱化石燃料の世界的な流れを背景に、ヨーロッパ中心に自動車EV化を急進。

Q1:この環境報告書をお読みにってどうお感じになりましたか。(1つだけ○をつけてください)

1. 読みやすさはいかがでしたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

2. 内容はいかがでしたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

3. 兵神装備の環境問題への取り組みはどう評価されましたか?

良い やや良い 普通 やや悪い 悪い

ご意見・ご要望があればお書きください。

4. この環境報告書をお読みにって、物足りない内容や改善した方がよい点がありましたら、具体的にお聞かせください。

Q2:兵神装備の環境問題の取り組みについて、どのようなことをご希望されますか?具体的にお聞かせください。

Q3:この環境報告書をどのようなお立場でお読みにっていらっしゃいますか?

- 1.金融・投資関係 2.格付機関 3.行政関係 4.事業所近隣住民 5.製品購買関係 6.環境の専門家
7.報道関係 8.企業の環境担当 9.学生 10.製品ユーザー 11.その他具体的に()

ご協力ありがとうございました。

お差し支えない範囲でご記入をお願いいたします。

(ふりがな)
お名前

ご住所 〒

ご職業・ご勤務先

TEL:

FAX:

E-Mail: